

令和4年度 デイサービスセンターふるさと桜 事業計画

【基本方針】

「BCP業務継続計画を運用し、安心、安全なサービスの提供に努める」

【年間目標】

- ① 策定済み業務継続計画を見直し、安全な環境でのサービスを提供する
- ② 興味、関心を引き出せる環境を作る事で意欲向上に繋げる
- ③ 個々の身体機能のアセスメントを強化した機能訓練を実施する
- ④ 地域ケア会議等の参画、関係事業所間との連携に努める
- ⑤ 研修や勉強会の充実により、職員の意欲を高める

【実践計画】

- ① 策定済み業務継続計画を見直し、安全な環境でのサービスを提供する
 - ・業務継続計画に基づき、感染症対策においてはスタンダードプリコーションの実施、適切な環境管理、送迎車内の環境管理、利用者、職員の体調管理（時間ごとの検温等）の徹底を行う
 - ・災害時においても応急業務や業務継続の優先度の高い通常業務を特定し、非常時優先業務の継続に必要な対策を講じる
 - ・国の感染症動向に注視し、感染症マニュアルの適宜見直し、策定済みBCP業務継続計画の検証を実施、最新の情報の維持に努める
- ② 興味、関心を引き出せる環境を作る事で意欲向上に繋げる
 - ・フォーダスの適用により、個々の利用者の特徴をより理解し、アセスメントの見直し等を行う事で、その方に応じた質の高いサービス提供に繋げる
 - ・外出の制限がある中で、季節感を感じて頂ける様な取組み（レクリエーションの工夫・季節に応じた壁画作成等）を実施する
 - ・毎月の会議、勉強会において利用者の情報共有を図る。利用者により興味、関心を持って頂けるよう努める。
- ③ 個々の身体機能のアセスメントを強化した機能訓練を実施する
 - ・LIFEの運用にて、利用者様の状態に応じたアセスメントを実施、評価することで個々の利用者に適した内容の訓練を実施する
 - ・疾病・疾患の維持・予防の為にメニューとして、咀嚼訓練、嚥下訓練、認知症予防訓練を実施する（口腔体操・歌と共に上下肢運動・剣道等をイメージした棒体操）
 - ・園芸活動訓練、野外歩行訓練、壁画等の作成による手指運動等、趣味や余暇活動の一環として懐かしさや温もりを感じて頂ける機能訓練を実施する

④地域ケア会議等の参画、関係事業所間との連携に努める

- ・関係事業所間や地域との連携に努め、地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みに参画する
- ・毎月のブログの発信や、フォーダス導入の営業活動を行う事で、稼働率向上に繋げる

⑤研修や勉強会の充実により、職員の意欲を高める

- ・毎月の会議、勉強会の開催にて、利用者に対しての問題解決を適宜行う
- ・職員個々の思いや意見を発信出来る環境を作り、いつでも話し合える安心感を持つことで職員の意欲向上に繋げる
- ・「個人に寄り添った対応」「利用者を安心させる対応」「利用者の尊厳を守る対応」のコミュニケーションを図ることで、職員個々の思いやりの気持ちを高める

○稼働目標

- ・令和3年度2月時点平均稼働率 69.9%
- 令和4年度は約 10.0%上乗せし、76.9%を平均稼働目標とする